

福井県立病院を受診された患者様へ

当院では下記の臨床研究を実施しております。本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

研究課題名 (研究 番号)	遺伝性乳癌卵巣癌発端者診断から血縁者への遺伝情報に関する cascadingの現状と今後の課題
研究責任者 (所属)	大田 浩司(外科主任医長)
本研究の目的	2020年に遺伝性乳癌卵巣癌(以下HBOC)の遺伝学的検査として、BRCAAnalysis診断システムが、定められた6項目のリスク因子に該当する乳癌既発症に対し保険適応となった。発端者、つまり乳がん罹患患者には医療保険の枠組みで検査、治療など享受できるが、血縁者に関しては、未だ遺伝学的検査、そして紐づく治療は保険適応となっておらず、発端者と血縁者の間に情報の偏りがあることが否めない。約5年が経過し、発端者から血縁者へ遺伝関連情報がどの程度伝達されたか(cascading)、院内の状況を調査した。
研究対象期間	2020年1月1日から2024年12月31日
研究の方法 (使用する資料等)	●対象となる患者さま: 福井県立病院にて乳癌と診断し、BRCAAnalysis診断システムにてBRCA遺伝子に病的バリエーションが発見された方とその血縁者。 ●利用する情報 電子カルテに記載のある診療情報(遺伝学的検査の結果、乳癌に罹患したこと、既往歴、家族歴)
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除いたします。研究への参加、不参加はオプトアウトを用いて行います。
本研究の資金源(利益 相反)	本研究に関連し、開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	電話:0776-54-5151 担当者:経営管理課 倫理担当 (内線:2043/2047)
お問い合わせ期間(研究 参加への拒否ができる 期間)	2025年4月30日から2025年5月31日まで
備考	本研究は第31回日本遺伝性腫瘍学会学術総会にて発表予定